

議会運営委員会行政視察報告書

- 1 視察日程 令和8年1月20日（火）から
令和8年1月21日（水）まで

- 2 視察先及び項目
 - (1) 岐阜県可児市 議選監査委員の活用について
 - (2) 愛知県尾張旭市 ①議会による主権者教育の取組について
②議会による市民意見聴取の取組について
③政策立案機能の強化に向けた仕組みについて

- 3 参加者 委員長 水上洋志
副委員長 河野麻美
太田宏徳
天野かな
清水学
水谷たかこ
坂井えつ子
岸田正義
片山かおる
副議長 小林正樹
随 行 伏見佳之（議会事務局長）
高橋晃範（議会事務局）

- 4 視察概要 別紙1のとおり

- 5 視察収支報告 別紙2のとおり

(別紙1)

視 察 概 要	
【視察日程】 令和8年1月20日	【視察先】 岐阜県可児市
【視察項目】 議選監査委員の活用について	
【視察目的】 議選監査委員が具体的に行った業務監査による改善、教育委員会（学校現場）への監査など、議会の権能を活かす監査の先進事例を学び、今後の議会活動の参考とする。	
【取組の概要】 ●議会選出監査委員について 1. 議会選出監査委員の取組の経過について 令和3年（2021年）9月、議選監査委員による予算決算委員会での監査報告を開始した。その後、地区センターの視察を今まで事務局のみで実施していたものを監査委員が実施し、施設管理や工事現場などを持つ部署の現地監査を実施した。また、監査報告書を定例会に合わせて年4回の報告とした。 2. 監査の状況について 監査実施方針及び監査等の計画に基づき監査を行っている。毎年、全課を対象として監査を実施。学校・園・連絡所は3年で1巡している。 3. 議選監査委員の役割 監査委員と議会の連携は議会改革ではなく住民福祉向上を目的とした議会機能の充実と位置付けている。また、「日頃から行政の政策に精通し、財務面・行政全般に関することを何でも相談でき、必要な時は専門的な相談や機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる存在が監査委員である」として「かかりつけ医・主治医」に例えている。 予算決算審査サイクルに位置づけ監査委員との意見交換を実施している。 4. 監査充実の効果 いくつかの効果が説明されたが、議会に関するものとして、「議員の監査に対する意識が変わった」、「常任委員会との連携により、所管事務調査が深化した」ことがあげられている。 ●その他の議会改革について 市民福祉向上のための4つの議会サイクル（議会運営サイクル・予算決算審査サイクル・意見聴取反映サイクル・若い世代との交流サイクル）を策定して取り組んでいる。 その中では、決算審査による予算への提言を行い、提言反映結果の報告を受けている。また、議会報告会、各種団体との懇談会、地域課題懇談会などで市民の意見を聴取し議会としての政策提言を行い、提言結果報告を受けるというサイクルを確立している。	



【所感、課題等】

委員 1

議会選出監査委員の役割について、「監査委員と議会の連携は住民福祉向上を目的とした議会機能の充実」と位置づけ、監査委員は「かかりつけ医」との説明は、監査に対する新たな視点を感じた。議会として議選監査委員の役割をどう位置づけ、連携をどうはかるのかは今後の課題であると思う。議会改革の取組では、常任委員会代表質問や一般質問から所管事務調査に追加するなど常任委員会が役割を發揮していることは学ぶ点があった。

委員 2

可児市議会では、平成23年に行ったアンケートで議員や議会の活動が市民に知られていない現状に直面したことから、議会改革の取組を進めていた。議員間の自由討議を重視し、議員の一般質問から各委員会の所管事項への追加、委員長からの代表質問の実施、各議員の一般質問や委員会での質問は事前に正副委員長と事務局で精査するなど、チーム可児市議会としての様々な取組が議員力・議会力の強化に繋がっていると感銘を受けた。

委員 3

可児市議会が掲げる「チーム議会」は、すぐに取り入れるべきと考える。しかしながら、可児市議会においても時間をかけて取組んできたからこそ、チーム議会の風土が定着したことから、まずは、市民の声を聞く、議員一人のための議会ではなく、市民のための議会という認識を私たち自身が改めて持つ必要がある。そうすることで、可児市議会のように効率のいい議論、「時間」を意識した議論、結果を出す議論ができるものとする。

委員 4

予決算ならびに一般質問は、事前通告制をとり、かつ、予決算は委員長、一般質問は議長が事前に各議員から提出された質疑内容が議会の場で質疑されることに値するかどうかを精査するプロセスが入っているとのことだった。非常に建設的な仕組みであり、議会力の向上にも寄与すると感じた。また委員長間の引継体制もしっかり組まれていることが印象的であった。小金井市議会における議会改革の議論に活かしていきたいと考える。

委員 5

本市との最大の違いは常任委員会主義である。市民から頂いた意見を委員会で調査研究を重ね、議員個人ではなく委員会として執行部に質問し提言している。同じように議会選出監査委員が常任委員会に監査報告を行って情報を共有し、常任の予算決算委員会を設置して提言した政策がどうなったかなど政策形成サイクルを回して解決していない課題は次期委員会に送りするなど、本市もカタチだけでなく本気の広報広聴が必要である。

委員 6

一般質問が常任委員会の調査につながることもある、委員会として政策提言を行うなど委員会の機能を發揮している。委員個人でなく委員会としての機能を強化したい。委員の質問や一般質問を削ることがあるのは、政策形成サイクルが構築されているからこそではないかと考えた。小金井市議会としては想定しにくいですが、議員にも日々研鑽が求められているので、限られた時間で効率的に質疑するなどいま一度共通認識を持つことが必要だ。

委員 7

可児市の議会基本条例は議会の役割と責務を明確化し、市民参加と情報公開を重視している。会派代表者会議はほぼ開催せず常任委員会主義を採り、議論を委員会へ集約している点が特徴的である。一般質問で扱われた課題も所管事務調査に取り込み、委員会で議題化する運用が行われている。また議員と事務局がフラットな関係で“チーム市議会”を形成し、制度改善に取り組む姿勢が紹介された。総じて効率的な議会運営を実現している。

委員 8

議選監査委員が提案した、議会での情報共有、現地監査の実施については、小金井でも取り入れるべきと思った。雑入、契約の詳細な監査はまさに必要なものである。現地監査することで小金井の各施設改修ももう少し真っ当に進むのではないだろうか。財政援助団体での現地監査で出納帳や現金の管理にも踏み込むことができたということも特筆すべきことである。議選監査委員の必要性を再認識した。

委員 9

予算決算委員会の質問は事前提出し、正副委員長が整理して実りある審議をしている。議選監査委員が決算審査で答弁したり、定期的に委員会に報告する仕組みも素晴らしい。「議会は二元代表制の一翼を担う立場であり、住民に選ばれた首長の公約実現に協力するのは、議会の役目の一つ。提案するのは首長だが、議決するのは議会。説明責任は市長だけではなく、議会にある。」という言葉が特に印象的で、本市でも大切にしていきたい。

視 察 概 要

【視察日程】 令和8年2月21日

【視察先】 愛知県尾張旭市

- 【視察項目】 ①議会による主権者教育の取組について
②議会による市民意見聴取の取組について
③政策立案機能の強化に向けた仕組みについて

【視察目的】

議会による主権者教育、市民意見聴取による市民へのアプローチの手法から、委員会主体の政策立案機能の強化について、先進事例を学び、今後の議会の参考とする。

1. 「わくわく親子議会探検ツアー」について

議会事務局主催で「子どもたちにもっと議会のことを知ってもらう機会をつくる」目的で開催した。その後議会主催に変更された。午前・午後の2回に分けて1時間半の時間で実施。令和7年8月には児童と保護者50名が参加している。市議会の説明や〇×クイズを行い、議会施設を「探検ツアー」という内容で、シールラリーなど子どもたちが楽しめる工夫をいろいろと行っており、最後に終了証を手渡している。実施しての総括として、「市議会や議員を身近に感じてもらうことができ、参加児童や保護者からは大変好評」、「参加児童から中学生も来られたらいいのにと感想や保護者からは日程が2日くらいあると良いという意見もあったので、来年度以降見直しを行っていく必要」があるとしている。

2. 市民の意見聴取について

議会報告会については、広報広聴委員会で開催するかどうかを決定し、開催回数、日時、内容などは運営主体で決めるとしている。「議会全体で行う報告会」と「委員会が実施する報告会」で実施している。この間は、2部制で、第1部議会報告会、第2部3常任委員会に分かれた参加者との意見交換会として実施している。

また、市内で活動する団体又は自治会等との意見交換会を実施している。

3. 政策立案機能について

市議会の政策立案機能を強化することは非常に重要だが、それを進めるための仕組みがないことから、議長の指示のもと「議会みらい創造特別委員会」を設置して検討を行ってきた。「政策立案等の実施に関する基本指針」を定め強化により取り組んでいる。

令和7年10月に、基本指針施行後始めて、福祉文教委員会から市へ提言書を提出している。



【所感、課題等】

委員 1

「わくわく親子議会探検ツアー」について、主権者教育の一環として行われていることに新たな視点と感じた。当初は議会事務局が子どもたちに議会を知ってもらうために始めたとのことで事務局の意欲を感じた。市民の意見聴取では団体との意見交換の経験は今後の活動の参考になった。政策立案機能の充実は本市議会でも課題であると思う。政策立案を進める仕組みづくりを行ってきたとのことで、今後の参考にして生かしていきたい。

委員 2

子どもや保護者に議会を身近に感じてもらうわくわく親子議会体験ツアーや市民団体との委員会毎の意見交換会の実施、議会自らが調査・分析を行いエビデンスに基づいた政策提言を行っていくための基本指針の策定等を通じて、議会の理解促進と政策立案機能の強化を進めていた。親子探検ツアーは職員の主体性が活かされ、継続して実施されていた点も印象的で、小金井市議会でも今後の取組みの参考として活かしていきたいと感じた。

委員 3

わくわく親子議会探検ツアーについては、小金井市議会でも積極的に行いたいと考える。尾張旭市議会では議会と事務局が、いかに子供に興味を持ってもらうかを考えながら企画しているが、私たちも同企画を行うことで、自身の仕事を見つめ直す機会となる副次的効果も大いに期待できる。また可児市議会同様に、市民のための議会という意識を持つ必要がある。その事で、言いつばなしではなく市長への政策提言など行うことができる。

委員 4

議会報告会の形骸化を打破するために、開催方法や運営主体を見直した事例を視察。また主権者教育として、親子向けツアーを実施し、工夫を凝らした企画は参加者の満足度が高く、参考になった。小金井市議会の日曜議会や報告会を省みると、目的の達成度や企画内容の妥当性を再精査する必要があると考える。今後は本事例等を参考にし、市民が議会に関心を持ち、意見を効果的に聴取できる仕組みづくりに向けた議論を深めていきたい。

委員 5

市民意見の聴取方法等は本市議会と似ているところが多いが、市民意見を反映させるために政策立案機能を強化して、委員会や会派の枠にとらわれない、希望する議員の有志の協議体を設置して昨年初めての政策提言を行っている点は本市議会より進んでおり、本市も委員会の所管事務調査の目的を単なる調査で終わらせるのではなく、委員会として政策提言を行うことを前提として行うべきであると強く感じる。

委員 6

市長部局で開催していた「市長を囲む子ども議会」のあり方が変わったことを契機に、議会事務局が「わくわく親子議会探検ツアー」を開催し、現在の議会主催に至っているなど、事務局職員が主体的に働ける土壌があることに驚いた。親子をターゲットとし、議会を身近に感じてもらう良い取組なので、小金井市議会でも行いたい。「各団体との意見交換会」は、いま協議している議会改革の提案に、大いに参考になった。

委員 7

尾張旭市議会基本条例では、市民との報告会や意見交換会を通じて説明責任を果たし、市民の声を議会活動へ反映することを規定している。一方、市議会の政策立案機能を強化する制度的な仕組みは長らく存在していなかった。そのため議会内で検討が始まり、有志議員により基本指針が制定された。政策立案手法として「政策立案」「政策提言決議」「政策提言」の三種を定義し、会派の枠を超えた協議体で政策形成を進める点が特徴である。

委員 8

議会による市民団体との意見交換会については、現在、広聴機能の拡充の一環で議会改革提案されていることもあり、ぜひ参考にすべきと考える。市民団体側からの申込みであることも重要である。親子議会体験ツアーは小金井市でもすぐに取り入れられるものではないだろうか。主権者教育を実施する中で、小金井市の小中学校での実施には至らないことから、議会体験ツアーの中で子どもの意見聴取ができる取組にならないかと考える。

委員 9

主権者教育として実施されている「わくわく親子議会探検ツアー」は、参加した子どもが飽きることなく、興味を持って参加できる工夫がたくさんあった。参加した子どもだけでなく、同伴のきょうだいや保護者も、議会への関心が高まり、とても良い取組だと思う。参加者のアンケートで「中学生にも実施してほしい」との要望が出るのは、内容が評価されている証左であろう。本市議会でも、ぜひ取り組んでいきたい。

(別紙2)

収 支 報 告

1 予 算 508,880円

〈内 訳〉 委員旅費 @42,240円 ×10人 = 422,400円

1人当たり旅費 交通費 24,170円

宿泊費 12,470円

日 当 5,600円

職員旅費 @40,240円 ×2人 = 80,480円

1人当たり旅費 交通費 24,170円

宿泊費 12,470円

日 当 3,600円

視察負担金 @500円 ×12人 = 6,000円

2 執 行 額 508,880円

〈内 訳〉 交通費 290,040円

宿泊費 149,640円

日 当 63,200円

視察負担金 6,000円

3 差 引 残 0円